**1-1「学者の落しもの」**

1から2

**2-1「狼男」**

1から2

**2-4「通り魔」**

1から2

**2-5「無人教室」**

1から2

**2-7「毒殺」**

2から3

**2-8「エーシーズ・ハイ」**

3から4

**2-9「伝説の薬剤師」**

3と4から5（真相）

**2-11「届かなかった贈り物」**

1から2

**2-14「くさきものども」**

1から3

**2-15「紫の薔薇」**

1から5まで全部から6（真相）

**2-16「少年の一目惚れ」**

1から2

**2-18「行方不明の看板娘」**

1から3

**2-19「失われた物語」**

5から6

**3-1「表紙のない本」**

1から5

4から6

**3-2「読めない手紙」**

1から5

6から10

**3-3「謎の襲撃者」**

1から6

7から8

**１－１「学者の落としもの」**

・初期「落とした時計」「それならこの時計ですかね。さすがに、拾ったものを売るなんてしないですよ」

**アイテムカード　「学者のものらしき時計」を渡してください。**

・アイテムカード「学者のものらしき時計」に対して「早く学者さんに届けてあげな」

**１－２「家宝の剣」**

・初期「家宝の剣」に対して「以前に新聞で見たというなら、記者に聞いてみるといいんじゃないかな」

・証拠カード「商人に借りた」に対して「商人に聞いてみるべきだろう」

**１－３「料理のレシピ」**

・初期証拠カード　「自作レシピ」に対して「バーのマスターに聞きに行ったら？」

・「プロのレシピと材料」に対して「貴族様の所に行って確かめるといい」

・「足りなかった材料」に対して「貴族様の所に行って確かめるといい」

**２－１　狼男**

・初期証拠カード「狼男のうわさ」に対して「狼男？ああ、そういえばこの前の満月の夜、銀色の毛の子犬を頭の上に乗せてる怪しいやつがいたな。遠くから見たら狼男に見えたかもしれないが、俺の目はごまかせねえよ。

**証拠カード「目撃情報」を渡す**

・「目撃情報」に対して「そ－なのかー」

・「銀色の子犬」に対して「そーなのかー」

・証拠カード「目撃情報」「銀色の子犬」に対して　「なら、記者に直接聞いてみればいいのでは？」

**２－２「恋文」**

・初期証拠カード「恋文」に対して「知りませんね」

・証拠カード「恋文の出てくる小説」について「そういやこの前酔っ払いどもがその小説について話してるのを聞いたなあ。確かあれは商人とマスターだったかな？」

・証拠カード「マスターの冗談」について「そこまでわかってるなら、マスターに行け」

**２－３「チェンジリング」**

・初期「読めない本」について「読めないから判断のしようがないね……学者さんなら読めるかもしれないが」

・証拠カード「一部訳の台本」について「劇？それなら記者さんが特集記事を書いていたような……」

・証拠カード「スポンサー」について「貴族さんの所へ行ったほうがいいのでは……」

**２－４「通り魔」**

・初期証拠カード「いきなりの襲撃」に対して「事件は知らんが、貴族に新しくガールフレンドができた、トラブルが起きるなら彼女がらみだろう。彼女は商人の娘だ。」

**証言カード「ガールフレンド」を渡してください。**

・証言カード「ガールフレンド」に対してその他「そうなのか。なら商人に聞いてみればいいのでは？」

・証言カード「ストーカー」に対して「そうなのか。なら貴族に聞いてみればいいのでは？」

**２－５「無人教室」**

・初期証拠カード「子供が来ない」に対して「そういえば最近、子供たちが「竜の玉」がどうとか話しているな。

なんのことだかはわからんが、流行っているものではあるらしい。」

**証拠カード　「竜の玉」を渡してください。**

・証拠カード「竜の玉」に対して「竜の玉・・・？なんのことだろうかはわからないけど・・・流行ものなら記者に聞くのが手っ取り早いんじゃないか？」

・証拠カード　「貴族の所有物」に対して「へぇ・・・貴族様は趣味が本当に広いんだなぁ…。あれ？でもなんで子供たちの間で流行っているのだろうか・・・？」

・証拠カード　「子供が来ない」「貴族の所有物」に対して「うーん・・・われわれには推測するしかできないからなぁ・・・直接貴族様に聞くのがいいのではないだろうか？」

**２－６「笑わない数学者」**

・初期「消えた原稿」「原稿は知らないが路地裏に紙くずがいっぱい落ちているからそこに紛れているかもな」

・証拠カード「紙束を抱えた息子」に関して「酒場の方に行ったならマスターにでも聴いてみたら？」

・証拠カード「数式の書かれた紙飛行機」に関して「学者さんに教えてあげたほうがいいんじゃないのか？」

**２－７「毒殺」**

・初期証拠カード「アンダーソン氏の死」に対して「いやあ、特に知っていることはありませんね」

・証拠カード「ボストン氏の買い物」に対して「ああ、それはこの前拾った万年筆じゃないかと。ほら、これですよ。目立たないところに落ちていたのを、変わった品物だと思って拾ったんですが、落とし主は現れないし、売ろうにも珍しいものだったのでどこも買ってくれなくてね」

**アイテムカード「落ちていた万年筆」を渡して下さい。**

・証拠カード「落ちていた万年筆」に対して「学者ならたぶんそこに毒が入っていないか確かめてくれるだろう」

**２－８「エーシーズ・ハイ」**

・初期証拠カード「キズモノ飛行機」に対して「うーん……飛行機と言えば貴族様が好きでしたね。かなりの腕らしいですよ。それと、記者は飛行機関係の記事もたまに書いてるみたいですね」

・証拠カード「貴族説」に対して「まずは貴族に話を聞くべきでは？」

・証拠カード　「あの日は病気」に対して「あれ、おかしいなあ。俺はあの日貴族様を外で見たんですが。ちょっとわかりにくい服装でしたが間違いありません。とても健康そうに見えましたよ」

**証拠カード「目撃証言」を渡して下さい。**

・証拠カード「目撃証言」に対して「貴族様ご本人に聞いた方がいいのでは？」

**２－９「伝説の薬剤師」**

・初期証拠カード　「伝説の薬剤師」「私のようなしがない靴磨きが、伝説の靴磨きなわけがないでしょう・・？」

・「星の形をしたアザ」に対して「私にもアザはありますが・・・星形なんてアザは持ってはいませんよ」

・「星のアザの持ち主」に対して「学者先生に聞いたのは、目立つうえに不気味なモノでしたから・・特に意味はありませんよ。」

・「靴磨きの薬」に対して「まあそういうことはありましたが……あれは貰い物ですよ」

・「靴磨きの薬」「星のアザの持ち主」「やれやれ・・・そこまで調べはついているんですか。昔の話ですよ。今はもうただ静かに暮らしたいだけで・・面倒事はこりごりですのに・・。まぁ、一度だけならよいでしょう・・」

**真相カード「伝説の薬剤師」を渡してください。**

**２－１０「10年目の浮気？」**

・初期証拠カード「トマスの浮気疑惑」について「酒場に行かれているのでは？」

・証拠カード「最近あってない」について「プレゼント探しならば商人のところでは？」

・証拠カード「引退した指輪職人」について「あの老人ですか……確か実家が記者の家の近くだったので、そっちに帰ったのかもしれません」

・証拠カード「職人の今」について「商人に頼んで下さい」

**２－１１「届かなかった贈り物」**

初期「紅白の箱」「あ・・あれか？拾ったんだよ。中身は女神像だったんだ・・・え？商人に売っちまったよ。」

**証拠カード「女神像」をわたしてください。**

・証拠カード「中身は女神像」に対して「女神像か・・・。どんな女神像かわからないと何とも言えないなぁ。」

・証拠カード「ヴィーナス像」に対して「ヴィーナス像？いや、そんなものは見ていないが・・・」

・証拠カード「裸体像」に対して。「裸体像・・・？そんなものはしらないなぁ。」

・証拠カード「ツケのカタ」に対して「いや・・酒場のツケが私たちにどう関係あるんで？」

・証拠カード「ギャンブルのベット」に対して「ああ。マスターと貴族さんはよくギャンブルしてるからね。」

**２－１２「消えたネクタイ」**

・初期証拠カード「ネクタイは商人のもとへ」に対して「うーん・・商人さんとはよく会うが変わった様子はないなぁ。よく顔を合わせているマスターなら何か知っているんじゃないか？」

・証拠カード「マスターの証言」に対して「へえ。なるほど。・・それが私に関係あるとは思えないのだが？」

・アイテムカード「ネクタイと領収書」に対して「特に何もわからないなぁ・・・？」

・証拠カード「郵便の行方？」に対して「記者からの郵便？いや、私のところには来ていないよ。」

・証拠カード「ネクタイと領収証」「郵便の行方」に対して「特に何もわからないなぁ・・・？」

**２－１３「幽霊屋敷」**

・初期証拠カード「悪霊の噂」について「噂は聞いたことがありますが詳しいことは知らないですね」

・証拠カード「買い叩き」について「詳しいことは知らないな、記者ならそういうことに詳しいんじゃないか」

・証拠カード「円満な取引」について「円満な取引ならそれでいいじゃないか」

・証拠カード「夜中の物音」について「誰も居ないのに物音がするなんてなんだか薄気味悪いな」

・証拠カード「暗闇の中で子供」について「ちょっとわからないな、商人さんのところは確か子供が居たはずだから詳しいことを知っているかもしれないね」

**２－１４「くさきものども」**

・初期証拠カード「謎の集団について」「見た！数日前から現れて、奇妙なモノを配って、いくつかの質問をしていくらしい……俺は匂いがダメで近寄らなかったけどさ。覆面の男だったよ」

**証拠カード「黒覆面の男」を渡して下さい。**

・証拠カード「腐った豆」について「腐った豆……？そんなものが食べれるのか？生憎私は料理しないからなぁ……」（もしかしたらマスターなら知っているかも？　と誘導して下さい）

・証拠カード「黒覆面の男」について「うーん……怖いねぇ。なんだってそんなものを付けているのだろうか・・？」

・証拠「料理依頼」「なんだって、私に貴族様が料理を頼むのさ。そういうのは料理ができる人に頼むだろうよ」

・証拠カード「酒場から出現」について「うーん……そんな変な客がいるのか？まさかなぁ……」

・証拠カード「料理依頼」「酒場から出現」について「うーん……マスターに聞いてみるのがいんじゃないか？」

**２－１５「紫の薔薇」**

・初期証拠カード「女優について」「しがない労働者には関係のない話ですねえ。紫の薔薇？さぁ…」

・証拠カード「女優の出身」について「何を根拠にそんなことをいっているんだい？わけがわからないよ」

・証拠カード「貴族の庭園」について「知らないなあ…」

・証拠カード「庭仕事の道具」について「ただの趣味ですよ、たいしたことないです」

・全ての証言カードを持って行く「お察しの通り、私が送り主です。彼女とは同じ孤児院出身で顔なじみだが、今の俺と、しがない靴磨きと知り合いだなんて話が広まっても、スキャンダルにしかならねえ。あいつはもう、俺が気楽に会えるような人じゃないんですよ…すいませんがこれを彼女に渡して下せえ」

**真相カード「紫の薔薇と手紙」を渡してください。**

**２－１６「少年の一目惚れ」**

初期証拠カード「髪飾り」について「そういえば三日ほど前に君の言うのとよく似た髪飾りを拾ったぞ、見た感じ高そうなものだしお金持ちのものだろうな」

**アイテムカード「高価な落し物」を渡して下さい。**

・アイテムカード「高価な落し物」について「金の刺繍が入っているしきっと高いものだろう、貴族さんならなにか知っているかもね。

・証拠カード「持ち主は貴族の娘」について「貰ったものをすぐになくすなんておっちょこちょいだね」

・証拠カード「きっかけは服装展示会」について「詳しいことは知らないな、新聞に載っていたから記者さんなら知っているんじゃないか」

・証拠カード「販売は五日前から」「精巧な人形」「それは学者さんに伝えてあげたほうがいいんじゃないか？」

**２－１７「盗まれた首飾りを取り戻して」**

・初期証拠カード「盗まれた首飾り」に対して「首飾り・・・？生憎、そんな高級品縁なんかさっぱりでね。ああ、でも盗まれた首飾りの売買ルートとかを新聞記者が調べてたっけな・・・？

・アイテムカード「首飾りの鑑定書」に対して「おお、首飾りは見つかったのかい。よかったじゃないか」

・証拠カード「問屋がらみの犯罪」「あぁ、そんな話もあったなぁ。私たちには関係ないだろうけれども。」

・証拠カード「もしかして偽造？」に対して「えぇー！！鑑定書は偽造だったのかい？たまげたなぁ。学者様がいうならそうなんだろうけど」

・証拠カード「もしかして偽造？」「問屋がらみの犯罪」に関して「ふーむ、装飾品のロンダリングねぇ。大変なんだなぁ……で。私に関係あるのかい？」

・証拠カード「鑑定書は偽造」に対して「貴族様の持ち物が盗品だなんて・・・早く教えてあげたら？」

**２－１８「行方不明の看板娘」**

・初期証拠カード「酒場のローラ」に対して「昨日、美容院に入っていくのをみたぞ。たしか赤毛に染めていたな……。せっかく綺麗な金髪をしていたのに」

**証拠カード「赤毛のローラ」を渡してください。**

・証拠カード「貴族のプロポーズ」に対して「ああ……ごく最近の話だよ。2日くらい返事を伸ばして、結局貴族様はフラれたらしい。まぁ、貴族様からプロポーズなんてされたら町娘はビビっちまうよなぁ……OKするならともかく、断るとなると、相手は権力者。ちびるね」

・「赤毛のローラ」に対して「赤毛ねえ？そう言えば、記者が赤毛がどうこうという話をしてたような……詳しくは覚えてないが」

・「旅支度」に対して「うーん……関係あるかはわからんが、学者先生のとこのジャックも旅支度をしていたな」

・証拠カード「ジャックと馬車」に対して「ジャックねえ？ローラと関係があるんだとしたら、学者かマスターのどちらかなら知ってるかもな」

・証拠カード「ジャックとローラ」「へえ。ローラの彼氏はジャックだったのか。そいつはしらなかった」

・証拠カード「旅支度」「貴族のプロポーズ」「ジャックとローラ」に対して「ああ……これは。駆け落ちかな……なんにせよ、学者先生に聞くのがいいだろう」

**２－１９「失われた物語」**

・初期証拠カード「本の紛失」に対して「あの日は雇われ御者としてあそこにいました。でも会場内には入らなかったし、興味もなかったから詳しいことは全然知らないんですわ。他の人に聞いてください」

・証拠カード「アリバイ」に対して「ええ、あの時は馬車で何度も展示会場とパーティー会場を往復してましたぜ。展示会場に戻ったら大騒ぎになってて驚きました」

・証拠カード「学者の借金」に対して「聞いたことがある気もするが、詳しくは知らないな」

・証拠カード「持ち物検査」に対して「記者の言うとおりですね。私の知る限り、皆検査には協力的でしたよ」

・証拠「馬車の故障」「あれには驚きました。壊れるような馬車には見えなかったんで。そうそう、あの馬車に関して変な話がありまして。あれはレンタル馬車で、当日は展示会側で借りてたんですが、展示会の前日と、更に翌日には学者さんが借りたそうで。翌日の方はわざわざあの馬車を指名したんだとか。普通壊れた馬車なんて借りないと思うんですがねえ。まあ、あれは商人の知り合い会社の馬車なんで、詳しい話は彼に聞いて下さい」

**証拠カード「学者が馬車を？」を渡して下さい。**

・証拠カード「学者が馬車を？」に対して「それはちょっと変だね。商人の知り合いの会社のものだというなら、商人に聞くべきだろう」

・証拠「細工の痕跡」、「学者の借金」「そこまで調べが付いているなら、直接学者に問いただすべきでしょう」

**３－１「表紙のない本」**

①「本探しか。そういやマスターが俺のところに、表紙の無い本について何か知らないかと相談しに来てたな。俺に聞かれても興味ないし、そういうことなら学者に聞きにいけばいいものの」

**→⑤「二人目の本探し」**

②「俺にとっちゃあ科学も良く分からないんだけどな」

（③貴族のところへ誘導）

④「そういや、ちょっと前に学者が誰かから路地裏でこそこそと袋を受け取るのを見たな。学者はそれほどでもなかったが、その誰かさんはとても動揺していたようだったな」

**→⑥路地裏の取引**

⑦～「はあ。俺には関係ない話だな」

**３－２「読めない手紙」**

・初期証拠カード「友人について」「あの旦那でしたら、お会いしましたよ。何か上機嫌で、尋ねてみたら儲け話ができたとか言ってましたね。あの日は旦那の金払いも良かったので覚えてますよ。一ヶ月くらい前ですかね」

**→証拠カード「友人の儲け話」**

・証拠カード「鉱山の開発権入札」に対して「最近あの会社は手広く金儲けに走っているな。守銭奴っていうのはあそこの社長みたいなのを言うんだろうな。そう言えばこの前○☓商事が臨時休業したな。なんかあったのかもな。たしか、新月の日だったな」

**→証拠カード「臨時休業」**

・証拠カード「商人の従兄弟」に対して「へぇ、そうだったのか。商人関係の話なら学者にも聞いてみたらどうだい？あの人経済学にも詳しいようだし」

・証拠カード「臨時休業」に対して「その日か……多分関係のない話だが、あの日はマスターの店に行ったらやたら酒の在庫が少なくなっててね。俺の欲しい酒もなくて困ったよ。何かあったのかな？」

・最低限の証拠カード「商人の融資」＋「臨時休業」「新月」「酒の購入」（事故前の行動）「これは直接商人に問いただすべきでは？」

**３－３「謎の襲撃者」**

**靴磨き**

1：「貴族氏ですか？その日はあの人の家で昼から一緒に酒を飲んでましたよ。急なことでしたが、奢るって言ってくれたんでね」

**6番「一緒に酒」を渡して下さい。**

3：「はい、貴族様の言う通りです」

**6番をまだ渡してなければ、6番を渡して下さい。**

4：「そいつは勘違いでしょうよ」

5：「そんな話を小耳に挟んだことはありますな。詳しくは知りませんが」

7：「マスターにはお見通しだってってことか……嘘は付けないねえ。はい、貴族様に口裏を合わせるよう頼まれたのは事実です。でも、貴族様は犯人じゃありませんよ。流石にそれならかばったりしません。詳しくは貴族様に聞いてください。俺が吐いた以上は正直に話してくれるはずです」

**8番：「靴磨きの自白」を渡して下さい。**

なんで貴族が犯人じゃないって知ってたんだ？と後で聞かれたら「いやね、レストランから出てきた貴族様とたまたまばっちり出くわしまして……」

9：「犯人は手袋でもしてたのかな？」

10：「で、それがどうしたんで？」

11：「まあそういうことです。ところで写真は？俺もまだ見せてもらってなかったんで」

なんで知ってたんだ？と聞かれたら「いやね、あの日バッタリお二人に出くわしましてな」

12：「見覚えがあるようなないような……マスターなら知ってるかもしれないな」

13：「あれまあ……お気の毒に」

13と2or13と10：「となると、学者先生以外のところで調べてもらったほうがいいですね。貴族様にはそういう知り合いがいた気がします」

14or17：「学者に行け」

15：「犯人は酷く慌てていたって話じゃないですか。その時に指紋を拭き取る冷静さが残ってたんでしょうか？」

灰皿以外にもダグラスの家には指紋があるんじゃないの？と突っ込まれた場合は、貴族に誘導して下さい。